

羽幌町農業委員会委員の推薦及び応募の状況（最終公表・令和2年3月24日～4月20日までの届出状況）

【推薦の状況（個人）】

受付番号	被推薦者							推薦者（推薦をした者）				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者の該当・非該当	氏名	職業	年齢	性別	推薦理由
1	鉢呂壽子	75	女	農業	昭和42年より農業従事 農業委員	作付作目 水田・畑30ha	該当	大窪祐二 和田利行 鉢呂正昭	農業 農業 農業	31 44 60	男 男 男	地域の農業事情にも精通しており、農業委員に適任である。
2	入江雄治	60	男	農業	農業委員	水稲経営 14.5ha	該当	小松貴覚 青木博司 西田 洋	農業 農業 農業	61 72 47	男 男 男	現在地区の農業委員であり地域農業のリーダーとして活躍しており、農業委員に適任である。
3	上坂明光	59	男	農業	昭和61年より農業従事	経営面積 水稲14ha、7sp ² 2.5ha、 麦1.5ha、その他1ha	該当	川村寿宏 池田貴憲 林 敦史	農業 農業 農業	34 44 45	男 男 男	地域の農業事情にも精通しており農業委員に適任である。
4	石山 茂	54	男	農業	昭和60年より農業従事	酪農 乳牛80頭	該当	安井良仁 安井弘樹 斉藤義人	酪農 酪農 酪農	61 57 58	男 男 男	地域で人望が厚く農業委員等の重責も経験しており、農業委員に適任である。
5	近藤晃一	53	男	農業	平成17年より農業従事 農業委員	作付作物 麦、大豆 経営面積 35ha	該当	南部光明 村中春利 山本順子	農業 農業 農業	69 60 70	男 男 女	日頃から真面目で周囲からの人望も厚く、地域の農業事情にも精通しており、又、地域農業のリーダーとしても活躍。以上の理由から、農業委員に適任と考える。
6	江幡 透	53	男	農業	昭和61年より農業従事	経営面積 20ha	該当	高見忠芳 中尾正徳 武田勝美	農業 農業 農業	67 60 65	男 男 男	地域の農業事情にも精通しており、農業委員に適任である。
7	高島 繁喜	57	男	農業	昭和56年より農業従事	作付作物 水田15ha、麦3ha	該当	山岸頼芳 上梨 修 杉野博史	農業 農業 農業	55 45 38	男 男 男	地域の農業事情にも精通しており、農業委員に適任です。

※推薦をした者のそれぞれ上段に記載のある者が、届出の代表者である。

【推薦の状況（団体）】

受付番号	被推薦者						推薦者（推薦をした団体）				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者の該当・非該当	団体等名称及び構成員の人数	設置目的	資格その他の組織の性格を明らかにする事項	推薦理由
1	片山孝幸	50	男	農業	オロロン農業協同組合理事(H27.4～現在) 株式会社RISING SUNカンパニー 代表取締役(H28.3～現在)	水稲 1,386a 大豆 252a	該当	オロロン農業協同組合 代表理事組合長 長谷川裕昭 1,241名(正組員511名、 准組員730名)	地域の農業生産の振興を旨として、組員の相互扶助の精神に基づき、協同して組員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地位の向上を図ることを目的とする。	50アール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にあるもの	地域の中核的な農業者であり、当組合の理事を務めていることから、地域の農業情勢に精通しており、農業委員の職務に適任であるため推薦する。
2	澤田俊秀	60	男	農事組合法人理事	専修大学北海道短期大学卒業 留萌地区農業共済組合総代	水稲 畑作 園芸施設	該当	北海道中央農業共済組合 組合長理事 三好孝行 12,000名	災害その他の不慮の事故によって組員が受けることのある損失を補填して、農業経営の安定を図るため、農業保険法(昭和22年法律第185号)に基づき農業共済事業を行うこと	組員	地域の農業や世帯の状況に精通しており、農業委員の職務に適任であるため推薦します。
3	荒木俊彦	64	男	農業	羽幌土地改良区監事 オロロン土地改良区理事 オロロン土地改良区理事長 オロロン農業協同組合理事	水稲、畑作 主な経営作物:水稲、小麦、大豆 経営面積: 田34ha、畑1.2ha	該当	オロロン土地改良区 理事長 荒木俊彦 158人	農業生産の基盤整備を図り、生産性の向上、増大、農業構造の改善に資する。	オロロン土地改良区 築別地区に所属する農業者	被推薦者は、長年にわたり農業に従事し、地域農業の発展に貢献してきた。

